



R 4 年度消防長査閲訓練



3月10日、行楽シーズンを迎えるにあたり実災害を想定した消防長査閲訓練を実施しました。

この訓練は、林道を縦走中の2名パーティーが負傷したとの完全なブラインド訓練とし、通信訓練、捜索活動、救助訓練などの内容を盛り込みました。

情報の収集と共有化、隊編成とその運用方法、資器材の選定や救出方法など課題が浮き彫りとなる訓練でしたが、有意義な訓練となりました。

迅速で臨機応変に質の高い活動ができるよう実災害に備えてまいります。